

科目名	ジャーナリズム論	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	一戸 信哉	実務経験の有無		×	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-A-1-110026	国際学部C：新潟の地域社会にあつて学術的素養を日々に活かす方途をたえず摸索する強い意欲をもち、これを具体化していくための社会関係構築能力を獲得していること			
授業の目的	メディア環境の変容がもたらす諸課題を理解し、「発信者」として取り組むべき課題、今後ジャーナリズムの向かうべき方向性について考察することにより、情報社会で活躍できる素養を身につける。				
学修到達目標	ソーシャルメディア上の普及の中で、個人が「発信者」としていかに行動すべきか、ジャーナリズムはどのような形に向かうべきか、について、自分なりの考えを述べられるようにする。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	ガイダンス。従来からの「ジャーナリズム」の考え方、メディア環境の変化の中で登場した、新しい「発信者」が、「ジャーナリズム」にどのような変化をもたらしているのか。
第2回	既存メディアの現状1：新聞、テレビ
第3回	既存メディアの現状2：ラジオ、雑誌

第4回	ソーシャルメディアの現状1：どんなサービスがあるのか
第5回	ソーシャルメディアの現状2：「ミドルメディア」がもたらす変化
第6回	技術はどこまでの「つながり」を可能にしたのか
第7回	ドキュメンタリーから考えるジャーナリズム 1
第8回	ニュースメディアの変容
第9回	広告の変容
第10回	政治・キャンペーンとメディアの変化
第11回	ドキュメンタリーから考えるジャーナリズム 2
第12回	地域情報の発信実習：取材準備1
第13回	地域情報の発信実習：取材準備2

第14回	地域情報の発信実習：記事アウトプット1
第15回	地域情報の発信実習：記事アウトプット2
第16回	地域情報の発信実習：成果発表

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間。テキスト及び関連するウェブページを読む。
【復習】時間・内容	2時間。授業の中で取り上げられたトピックについて、追加的な調査を行う。

成績評価	
評価基準・方法	小テスト・レポートについて、講評を行う。 授業期間中の課題評価が70%、授業態度30%で評価します。
フィードバック方法	課題に対する適切なアプローチについて、授業の中で講評を行う。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	グループワーク/プレゼンテーション
教科書/参考書	藤代裕之ほか『ソーシャルメディア論：つながりを再設計する 改訂版』（青弓社、2019年）
受講上の留意点等	特になし
JABEE	